

7月上旬出荷向けの白色系コギク新品種「常陸サニーホワイト」		
[要約] 「常陸サニーホワイト」は花色が白色で頂点咲きである。開花時期は7月上旬で、東京盆向けの品種として有望である。		
農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所	成果区分	普及

1. 背景・ねらい

茨城県のコギクは、県内の切り花出荷品目では産出額が第1位、全国においても栽培面積が第2位、出荷量が第3位のシェアを占め、重要な花き品目となっている。生産現場では、7月東京盆、8月旧盆、9月彼岸の物日出荷に対応するため、100を超える品種が栽培され、栽培管理の煩雑化が問題となっている。また、民間種苗会社の品種は育成地が県外であるため、本県における需要期出荷が困難であることが多いので、生産現場からは県による育種の要望が高い。そこで、市場から求められている頂点咲きの草姿で、物日出荷に対応できる県オリジナル品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 平成15年に「雪舟」の自然交配種子を採種し、得られた15の実生個体から選抜した品種である(図1)。
- 2) 花色はRHSカラーチャートでMN155Cの白で、純白に近い色である(表1)。
- 3) 季咲きの開花時期は7月上旬であり、「雪舟」や「白鳥」よりもやや早い(表1)。
- 4) 切花長は「雪舟」や「白鳥」よりも長く、分枝数と着蕾数は「雪舟」並である(表1)。
- 5) 草姿は、生産者や市場・花束加工業者が要望する頂点咲きであり、品種登録審査基準における花房の形は円筒形である(図1、表1)。
- 6) 現地試験における生産者評価は、総合評価で普通～良好で、項目の中では草姿が最も良好であり、導入希望が高い。白さび病にはやや弱い、病害虫発生程度は少～中程度で、農薬散布で防除できる程度という評価である(表2)。
- 7) 市場評価は、卸売業者では茎葉色、ボリューム、草姿の項目が高く、仲卸・加工業者では花色の評価が高い。花の形の評価がやや低いが、総合評価は普通～やや良であり、一般受けするとの評価もある(表3)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 花蕾は低温と思われる環境条件により淡ピンク色を呈する場合があるが、花卉が展開するにつれ退色し白色になる。
- 2) 平成22年9月24日に品種登録された(登録番号 第19936号)。

4. 具体的データ



図1 コギク「常陸サニーホワイト」

表1 コギク「常陸サニーホワイト」の特性（試験年次：平成17～19年、7月作型）

品種系統	花色 ¹⁾	開花日 (月・日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	節数 (節)	分枝数 (本)	着蕾数 (輪)	花径 (cm)	花房の形 ²⁾
常陸サニーホワイト	MN155C	7.6	94.9	63.7	34.1	10.8	31.4	3.8	円筒形
雪舟	MN155A	7.15	81.3	71.6	27.9	11.5	36.8	4.0	平形
白鳥	MN155A	7.11	69.4	50.6	27.5	8.9	10.7	3.7	平形

1) RHS カラーチャートによる。

2) 品種登録審査基準による（右図）。

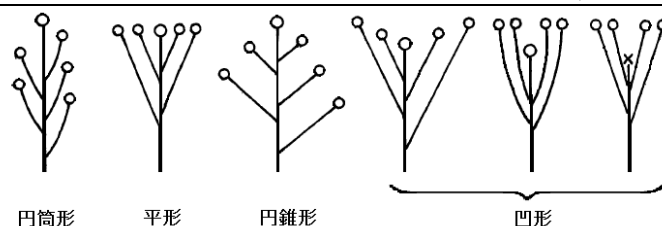


表2 コギク「常陸サニーホワイト」の生産者評価

調査年	導入希望 有：無	総合 評価	収量	作り やすさ	病害 虫発生	切花 長	花色	花質	茎葉 色	ボリューム	草姿
平成18年	3：0	3.3	3.3	3.7	3.3	3.0	3.7	3.7	3.3	3.3	3.0
平成19年	3：0	4.0	4.0	4.0	3.3	4.0	3.7	4.0	3.3	3.0	4.3

注) 生産者3名による評価。総合評価・作りやすさ・切花長・花色・花質・茎葉色・ボリューム・草姿；1：極劣，2：劣，3：中，4：良，5：極良。収量；1：極少，2：少，3：中，4：多，5：極多。病虫害発生；1：甚，2：多，3：中，4：少，5：無。

表3 コギク「常陸サニーホワイト」の市場評価（平成18年）

評価者	総合 評価	花色	花の 大きさ	花の形	花数	茎葉色	ボリューム	草姿
卸売業者6社	3.5	3.2	3.2	2.8	3.2	4.0	3.8	3.5
仲卸・加工業者3社	3.0	3.7	3.3	3.3	3.0	3.3	3.0	3.0

注) 評点は1：極劣，2：劣，3：中，4：良，5：極良。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

- 1) 本県小ギク産地活性化のためのブランド品種の育成・平成14～平成19年度・生物工
学研究所果樹・花き育種研究室
- 2) 新品種育成普及促進事業・平成6年度～・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 3) 新品種育成普及促進事業・平成18年度～・園芸研究所花き研究室